

# 紛争鉱物問題とは

鉱物の採掘・取引・流通などから得られる利益が紛争主体の資金源となっている問題

事例：シエラレオネとアンゴラでの紛争ダイヤモンド問題  
コンゴ民主共和国での紛争鉱物問題



# 目次

1. コンゴ紛争の経緯と概要
2. コンゴ東部の紛争鉱物問題と紛争鉱物取引規制
3. コバルト鉱山の人権問題と調達調査の開始
4. 日本の消費者の役割
5. デニ・ムクウェゲ医師の活動
6. 私たちにできること



# コンゴ民主共和国（旧ザイール）

- ◆中央部に**コンゴ川**と**熱帯雨林**  
野生動物が生息
- ◆南部や東部に、**鉱物の鉱脈**  
銅、コバルト、スズ、タンタル、金、  
ウラニウム、ダイヤモンドなど



▲ ヴィルンガ国立公園



▲ オカピ



▲ ゴリラ

# コンゴの歴史と交易

- ◆1483年  
ポルトガルとの**交易開始**
- ◆1885年  
ベルギー国王の  
**私的所有地**になる
- ◆1908年  
**ベルギーの植民地**になる
- ◆1960年  
ベルギー植民地から**独立**  
→コンゴ動乱が発生
- ◆1965年  
**モブツ大統領の独裁**

＜交易品＞

奴隷

象牙・ゴム

パーム油

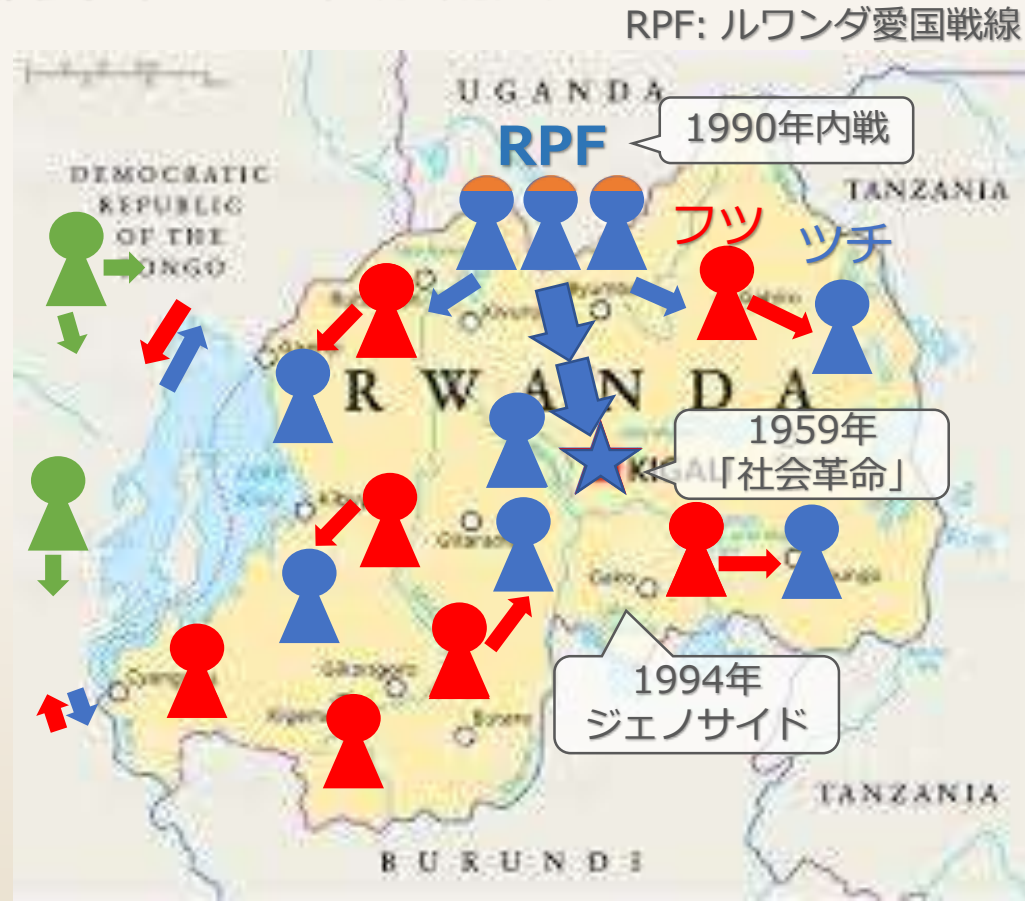
鉱物

資源依存型経済  
の形成



# コンゴ紛争の「引き金」

- ◆ 植民地前から コンゴ東部にルワンダ系住民が移住  
+ 1959年 ルワンダ「社会革命」でツチ難民が流入
- ◆ 1994年 ルワンダでジェノサイドが発生  
→コンゴ東部に大量のルワンダ難民（主にフツ）が流入  
※旧ルワンダ政府軍兵士や  
民兵（インテラハムウェ）が  
紛れ込む  
→難民キャンプの軍事化
- ➔ 地元のエスニック集団が  
自衛組織（Mai Mai）  
を形成して対抗
- ★ 1996年ルワンダ軍の侵攻  
+ AFDLの蜂起  
(AFDL:コンゴ・ザイール解放民主勢力連合)



# コンゴの紛争状況

## ◆1996～1997年 第一次コンゴ紛争

ルワンダの支援を受けたAFDLが  
モブツ政権を打倒

➡AFDL議長ローラン・カビラが大統領に

## ◆1998～2003年 第二次コンゴ紛争

ルワンダ、ウガンダが支援する武装勢力による  
L.カビラ政権に対する蜂起

➡周辺9か国が介入

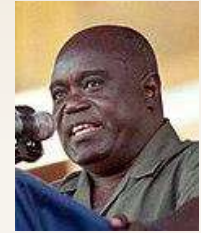
## ◆2003年 紛争「終結」

⇔**コンゴ東部での紛争状況は続く**



モブツ

1997年



L.カビラ

2001年



J.カビラ

2018年12月  
選挙  
2019年1月  
政権交代



チセケディ

# 鉱物と人権侵害

## \* 東部 (南北キヴ、イトウリ)

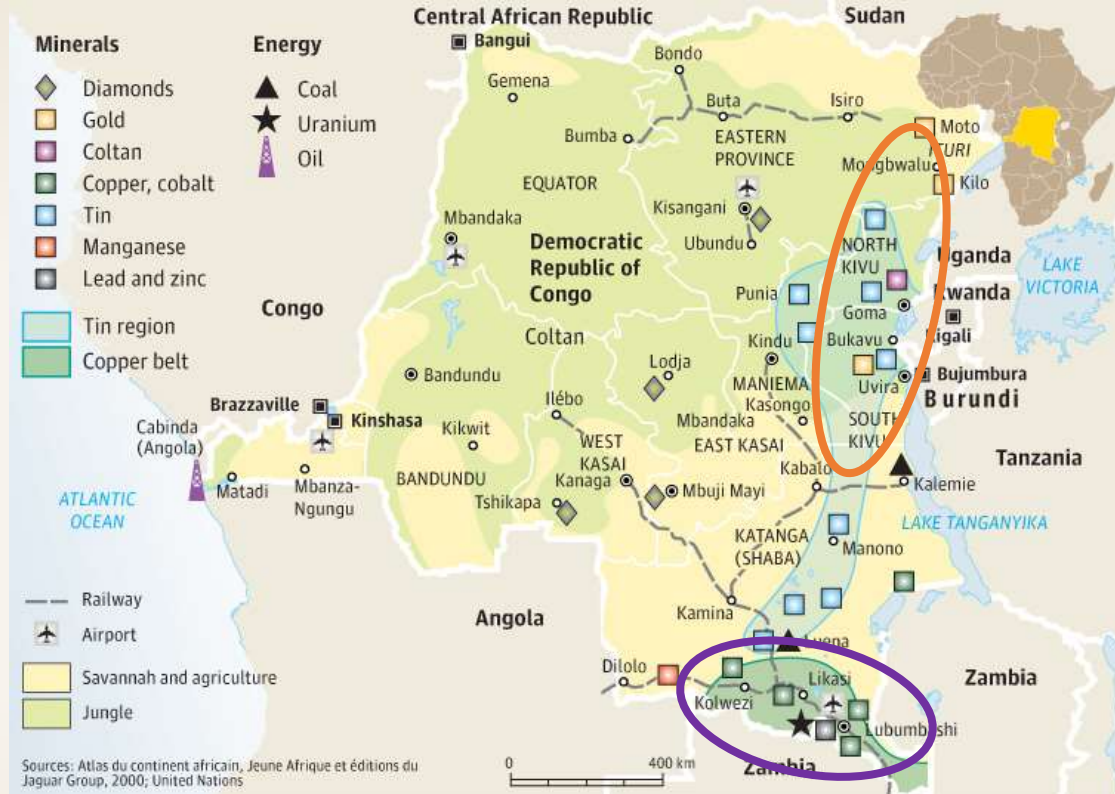
### ◆ 鉱物 :

スズ、タングステン  
タantal、金

= 紛争鉱物 (3TG)

### ◆ 人権侵害 :

武装勢力と軍による  
殺害、略奪、性暴力



## \* 南部 (カタンガ)

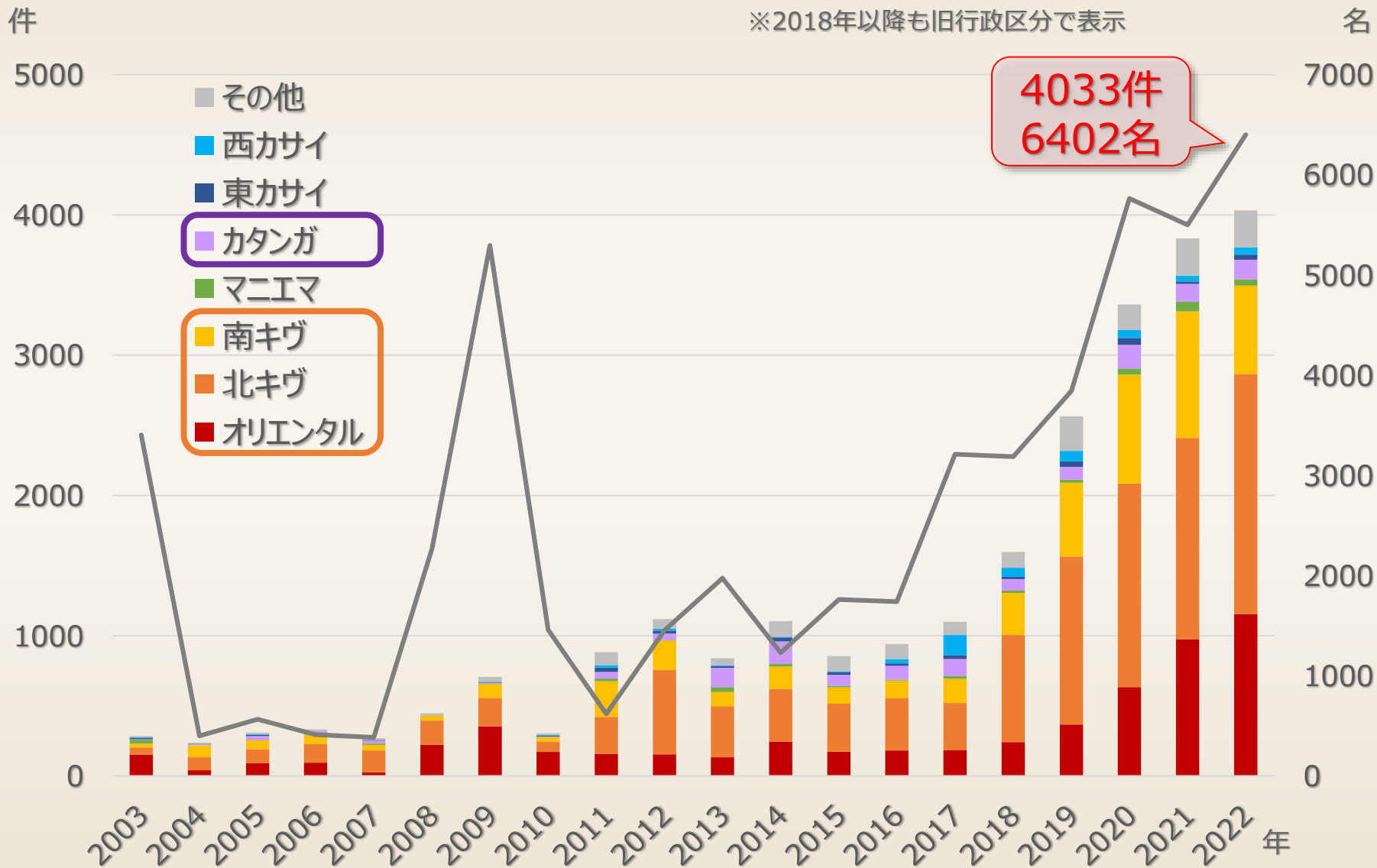
### ◆ 鉱物 : 銅、コバルト

### ◆ 人権侵害 : 児童労働、労働搾取

※注意：  
2023年現在、コバルトは  
紛争鉱物に指定されていない

# コンゴでの紛争関連イベント発生件数

※武力衝突、暴動、デモ、市民への暴力  
※2018年以降も旧行政区分で表示





# 紛争鉱物問題のはじまり

## ◆第二次コンゴ紛争中

東部に駐留したルワンダ軍、ウガンダ軍が資源を略奪

→違法に鉱物を採掘し、密輸して紛争資金を確保

➔紛争「終結」後も違法採掘・取引・流通のネットワークが継続

## ◆3TG鉱山の周辺では…

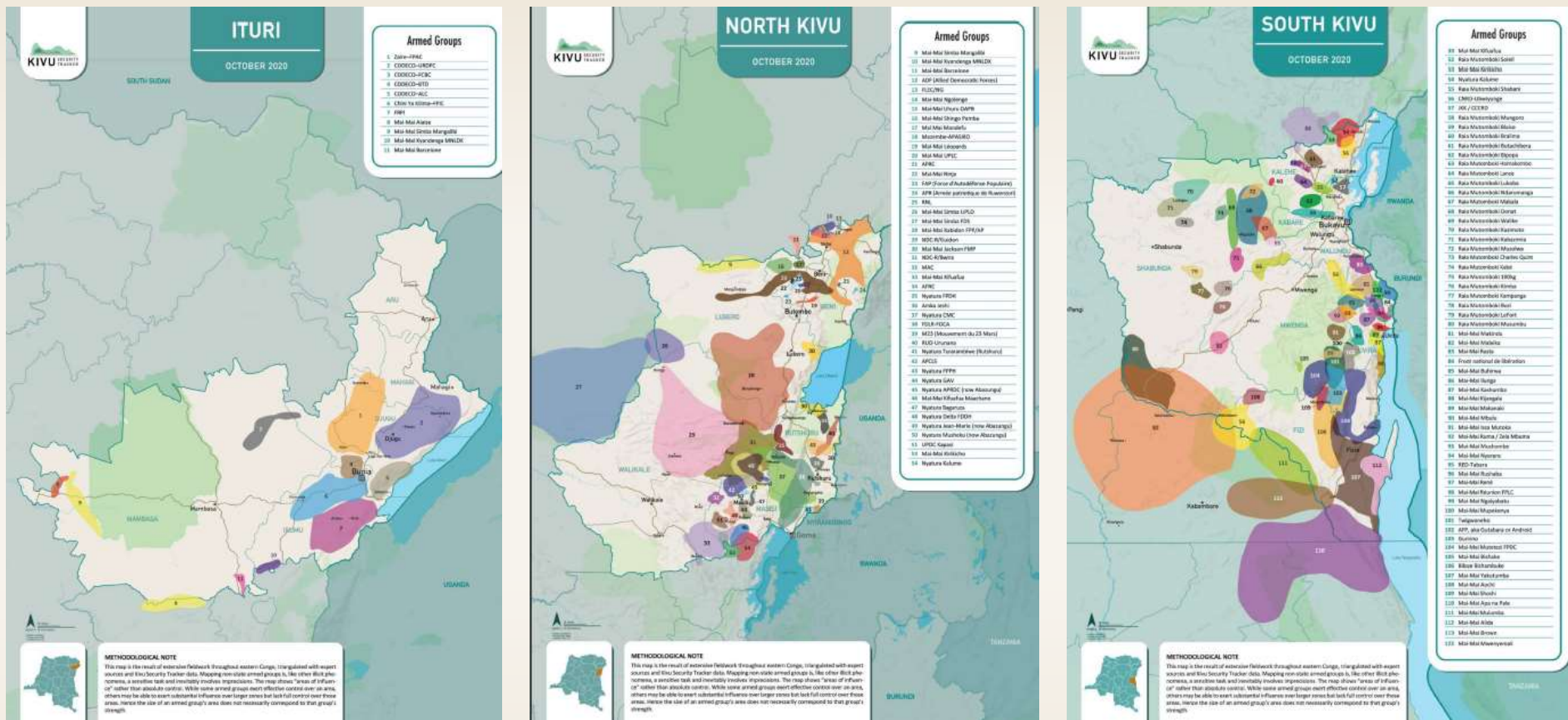
武装勢力が鉱山周辺地域を実効支配し、

鉱物採掘・取引への介入で紛争資金を稼いで

周辺の住民に暴力をふるう（殺害、略奪、性暴力）



# 120以上の武装勢力



## 外国の反政府武装勢力

FDLR (ルワンダ・フツ系)

ADF (ウガンダ系)

## コンゴの武装勢力

Mai Mai

= 地域の自衛集団

Source: Kivu Security Tracker (KST), [2021] *The Landscape of Armed Groups in Eastern Congo*

# 国連平和維持活動（PKO）

- ◆ 2000年～国連コンゴ民主共和国ミッション（MONUC）
- ◆ 2010年～国連コンゴ民主共和国安定化ミッション（MONUSCO）

## 【規模】

- 軍事・警察要員：14,101名
- 文民要員：2,970名

世界最大規模のPKO

## 【任務】

- 文民の保護
- 国家の安定化支援
- 武装解除・動員解除・社会復帰（DDR）
- 治安部門改革（SSR）支援
- 武器禁輸措置の履行監視

撤退・コンゴ政府に移行準備中



MONUSCO  
の派遣地域

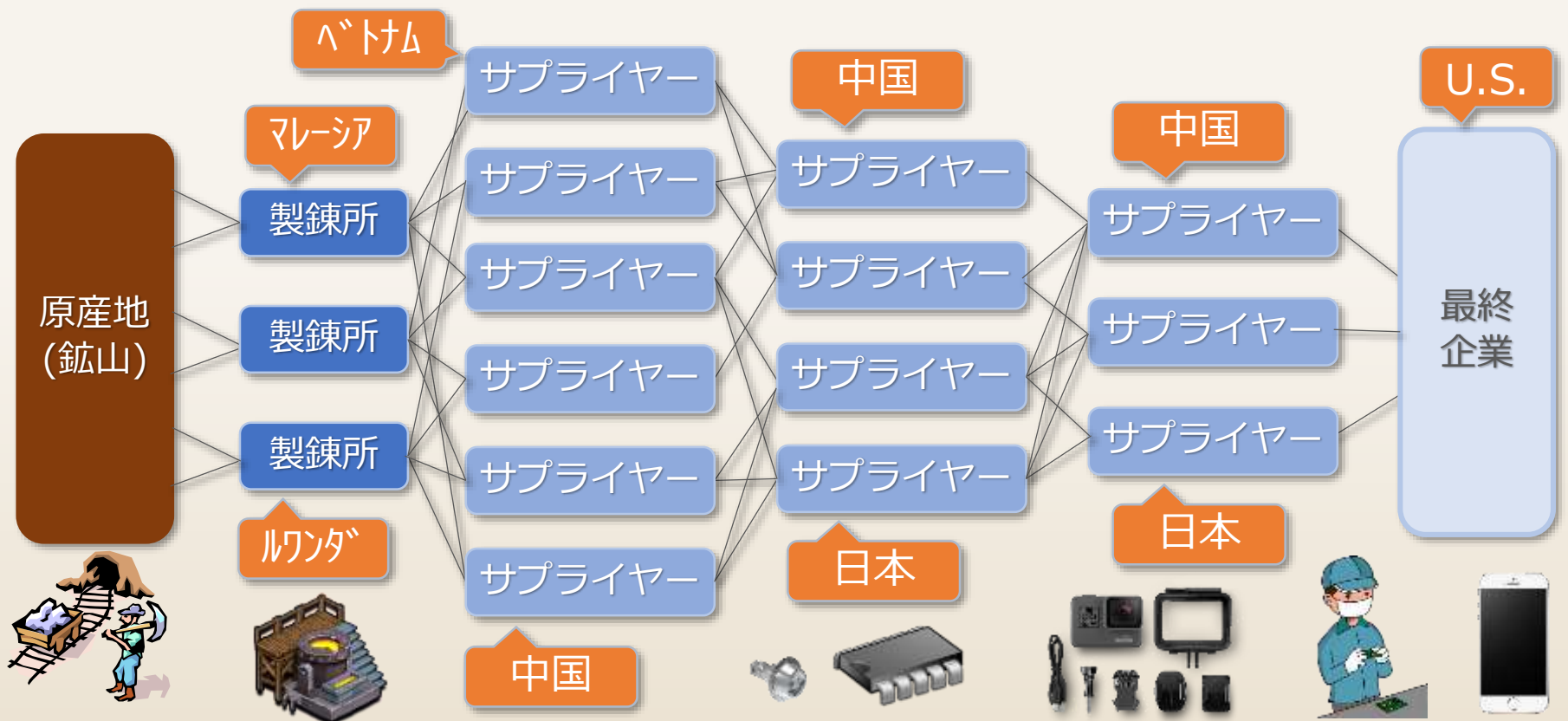
- 拠点
- 軍事要員
- 警察要員



# 紛争資源問題への国際社会の対応

【2010年 紛争鉱物取引規制の制定】

- ◆アメリカ：ドッド・フランク法（アメリカ金融改革法）1502条
- ◆OECD：デューデリジエンス・ガイダンス →2021年EU規制開始  
= 企業にサプライチェーンをさかのぼる紛争鉱物調達調査を求める



# 川上：紛争フリー鉱山の認証

◆2012年 地域認証メカニズム（RCM）の開始

→ ITSCI によるモニタリング & 認証タグの発行

※国際スズ協会（ITA）スズ・サプライチェーン・イニシアティブ（ITSCI）

## “Bagging & Tagging”

① 鉱山を3色で評価

▲  
紛争の影響あり

▲  
改善中

▲  
紛争の影響なし

② タグを発行



③ 鉱石を袋に入れて  
タグづけ



④ 紛争フリー鉱石として輸出

# 紛争フリー監査／認証システムの構築

原産地：地域認証メカニズム (RCM)

紛争フリー  
鉱山の認定

スズ産業：国際スズ協会(ITA)

➤ ITA スズ・サプライチェーン・イニシアティブ (ITSCI)



➤ 紛争フリー製錬所イニシアティブ (CFSI)

※2017～責任ある鉱物イニシアティブ (RMI)

➤ 紛争フリー製錬所プログラム (CFSP)

※2017～責任ある鉱物保証プログラム (RMAP)

紛争フリー  
製錬所の認定



電子機器産業：電子産業市民連合 (EICC)

※2017～責任あるビジネス連合 (RBA)

統一調査用紙  
(CMRT)  
の整備



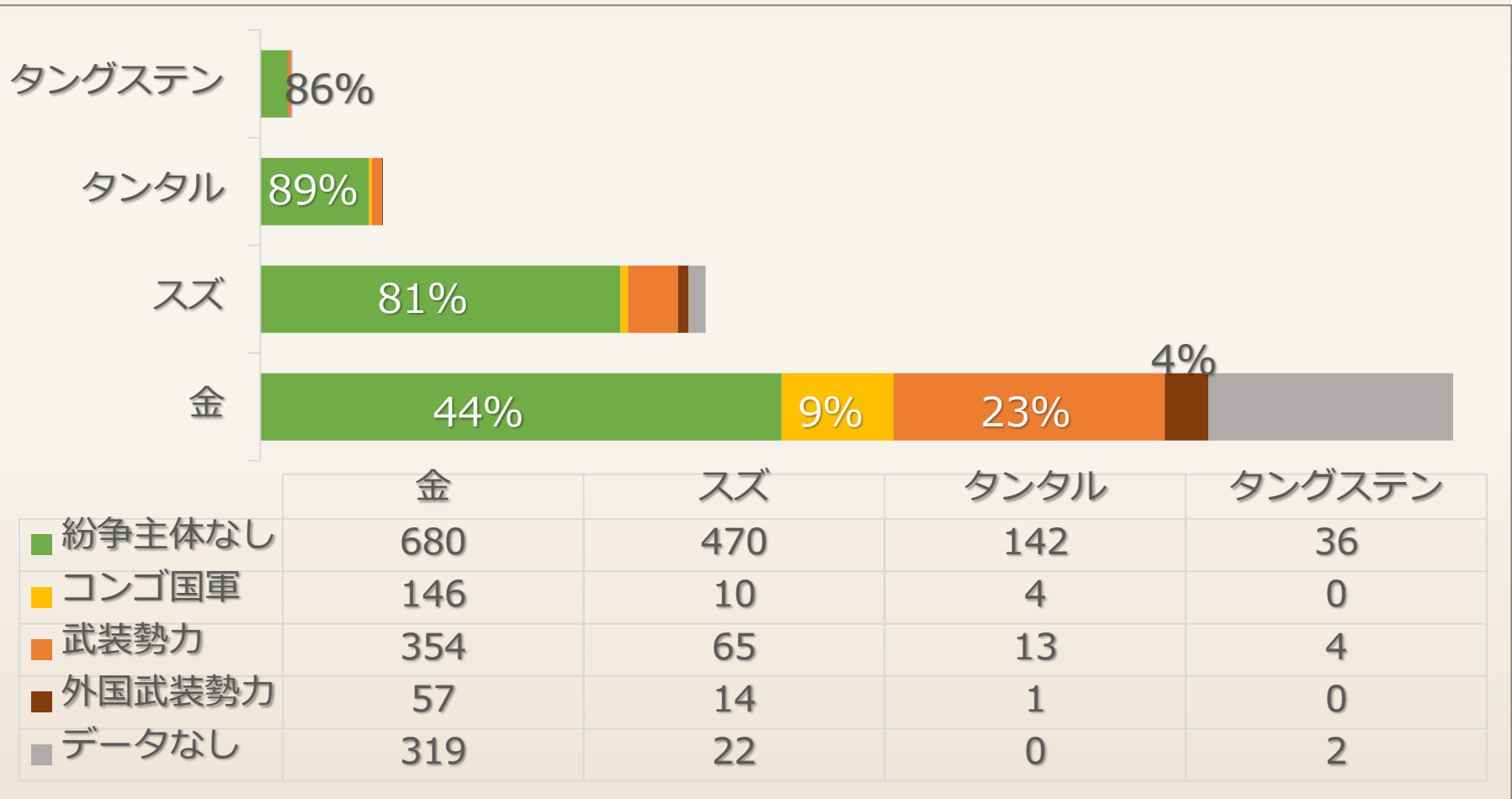
金産業：ロンドン貴金属市場協会 (LBMA)

ICT産業：GeSI (グローバル・e-サステナビリティ・イニシアティブ)

# 紛争主体の撤退

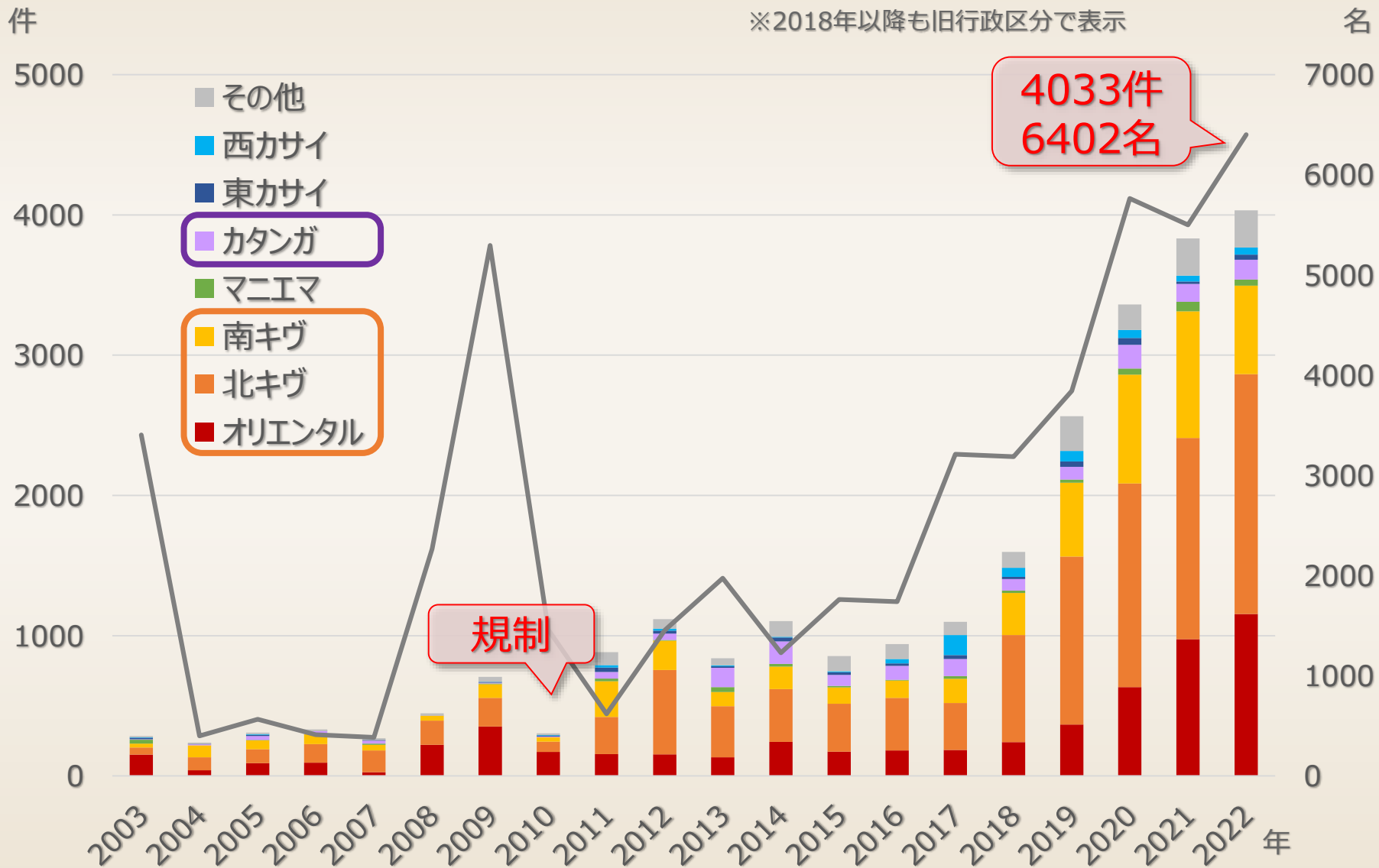
- ◆ NGOの報告：3T鉱山の8割は紛争フリー
- ⇔ 金鉱山は4割

労働組合を組織し  
環境改善する鉱山も



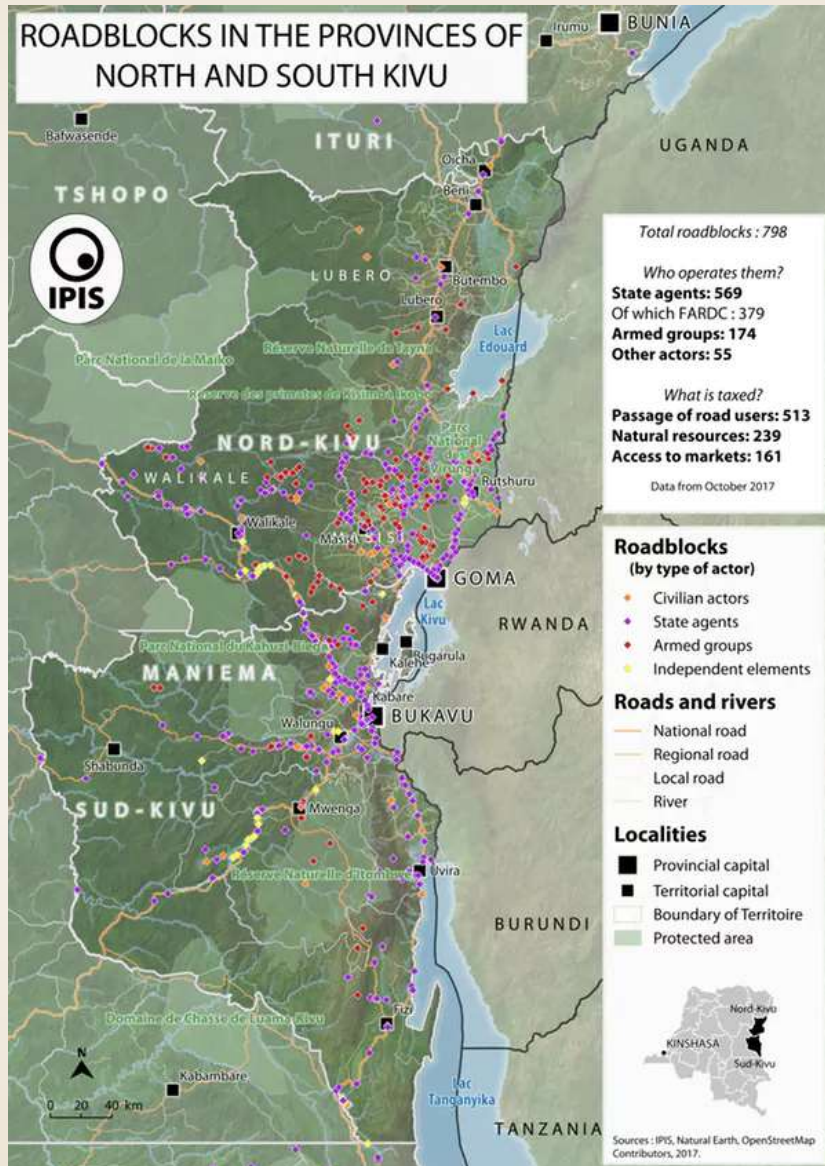
# コンゴでの紛争関連イベント発生件数

※武力衝突、暴動、デモ、市民への暴力  
※2018年以降も旧行政区分で表示





# Roadblock economy



- ◆ 東部だけで798か所
  - 政府系 : 569  
(国軍 : 379)
  - 武装勢力 : 174
  - その他 : 55
- ◆ 「課税」対象
  - 道路使用 : 513
  - 資源輸送 : 239
  - 市場へのアクセス : 161

# Stationary bandits

## ◆紛争主体が地域住民の保護と引き換えに徴税行動を行う 「Stationary bandits」が定着している

- 無政府状態において、住民からの「**窃盗**」を合理化できる（＝**徴税**できる）  
武装勢力は、平和的秩序と公共財を提供する（Olsen 1993）
- コンゴ東部では武装勢力が鉱物採掘地域を**実効支配**  
→鉱物採掘・取引への「**徴税**」によって資金を得る

- 鉱夫に課す「入坑税」
- 道路での「通行税」
- 周辺の村での「人頭税」



▲コンゴ東部の武装勢力  
Source: IPIS (2015)

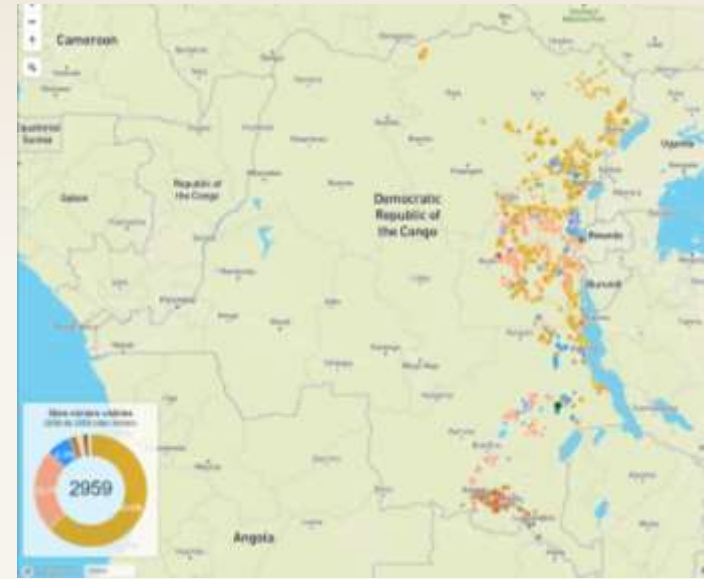
# ITSCI 鉱物認証スキームの問題

- ◆ 監視している鉱山が少ない
- ◆ アクセスが良い鉱山に偏っている

コンゴ東部のASM鉱山 2959 (IPIS map 2021 ▶)  
ITSCIの監視鉱山 454 (ITSCI report 2019)

2019	カタンガ	マニエマ	南キヴ	北キヴ
監視鉱山数	208	108	73	65

※カタンガは紛争地域ではない



- ◆ リソース不足

1人の職員が何10kmもの  
範囲の鉱山を担当  
→ 鉱夫やトレーダー、  
Mai Maiとの関係…



▲ ウガンダのタンタル鉱山



▲ ITSCIのタグと登録簿

# 採掘方法① 大規模鉱業 (LSM)

## ◆大規模な露天掘り



- コンゴ政府（10%以上）  
+ 外国企業が運営
- 重機や機械を活用

鉱業公社：Gecamines、Miba  
Sakima、Okimo

民間企業：ERG、MMG Limited、Glencore  
洛陽栾川モリブデン業集団

外国企業：FQM、ENRC、Anglo American  
Rio Tinto



※写真はウガンダのタンタル鉱山（華井撮影）。大規模鉱業の例として提示

# 採掘方法② 小規模手掘り鉱 (ASM)

## ◆小規模手掘り鉱 (Artisanal Small-scale Mining : ASM)



鉱坑で鉱石を採掘



選別

- 露天掘りに適さない  
→ 坑道掘り = 危険
- 安全具なし・補償なし
- 違法採掘が多い

コンゴ東部の3TG：大部分がASM  
コバルト：8割がLSM、2割がASM



洗浄



袋に詰めて取引所に運ぶ



取引人が買い取る

# 金鉱山の問題

## ◆金のASM鉱山の認証は行われていない

- LBMA は鉱業採掘のみを対象
- ITSCI は3Tのみを対象

➔ 金のASM鉱山は半数以上が  
紛争主体の影響下にある

## ◆ウガンダから中東を経由して貴金属市場に流通

2021年2月  
南キヴで新たな  
金鉱山発見

# 密輸の継続

## ◆国連専門家グループ報告書

- 鉱物密輸の横行
- 3Tタグの違反使用

紛争主体の資金源

⇔ 紛争フリーのタグがついて  
サプライチェーンに混入

⇔ 現スキームでは排除できず

# アフリカ大湖地域の政治力学

- ◆ 周辺国がコンゴ東部の武装勢力を支援（疑い）
  - ルワンダ、ウガンダ、ブルンジなど
  - ・ 兵士のリクルート、トレーニング
  - ・ 武器の提供
  - ・ 紛争鉱物の密輸
- ◆ 東アフリカ共同体の地域軍の派遣
  - ・ 2019年～ ADF（民主同盟軍）の領域拡大
  - ・ 2021年～ M23の闘争激化
  - ➔ 2022年～ 東アフリカ共同体地域軍の派遣
  - ⇔ 「紛争を起こしている国が平和部隊を派遣している」との批判



# コバルト鉱山での人権侵害

## ◆NGO Amnesty Internationalの報告書

2016年『This is what we die for』

2017年『Time to Recharge』

### ➤ 手掘り鉱山での劣悪な環境での**児童労働**を報告

- 7歳の子どもが鉱山で働く
- マスク、手袋、フェイスガードなどの安全具なし
- 警備員に殴られたり、取引人に買いたたかれる
- 正式な採掘権を持たないため、「税」と称して鉱石を徴収される
- 1日12時間以上働いて、2ドル以下の収入

➡ コンゴ政府による**ガバナンスの問題**を指摘

### ➤ コンゴでコバルト鉱石を購入している

Cobalt Dongfang International Mining SARL (**CDM**)

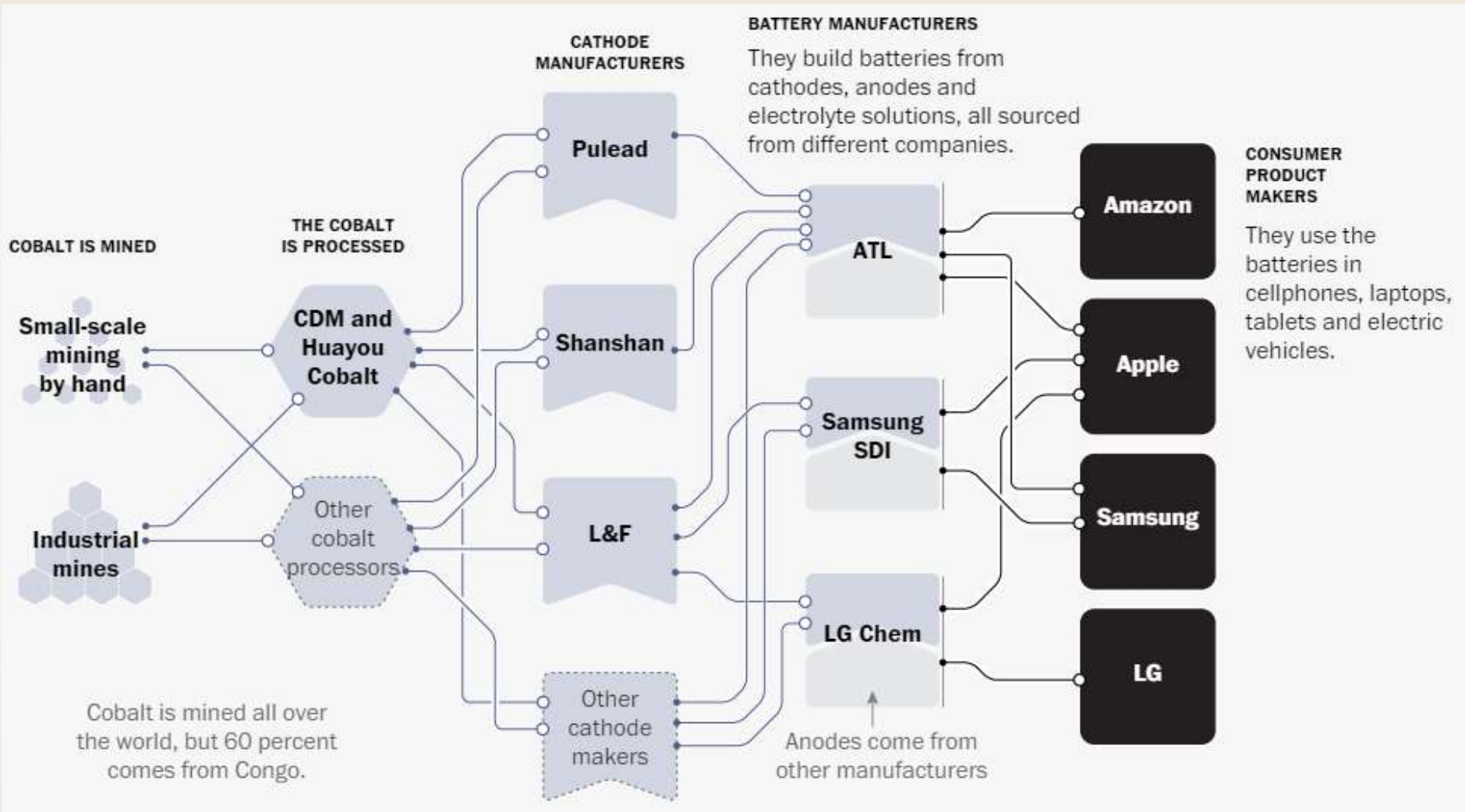
(= **Huayou Cobalt**の子会社)

とその取引企業 **計29社の対応を公表**





# リチウムイオン電池のサプライチェーン



鉱石 → 鉱物 → 電極 → 電池 → 最終製品

# コバルト手掘り鉱山の生活・労働環境

- ◆ 2,635世帯の聞き取り調査 (Faber et.al. 2017)
  - 鉱山労働が重要な収入源
  - コンゴの平均より低収入
  - 70%が**食事の確保に不安**を抱く
  - **子ども**の57%が家庭内労働、  
11%が**家庭外労働**に従事  
→うち19%が**鉱山労働**、4%が**鉱物加工**  
15歳未満：洗浄・選別  
15歳以上：鉱坑での採掘

## 児童労働の動機

- 環境のため (34%)
- 家族が鉱山で働いているため (20%)
- 両親がさせている (20%)
- 他に働く場所がない (20%)



# 児童労働をめぐる訴訟

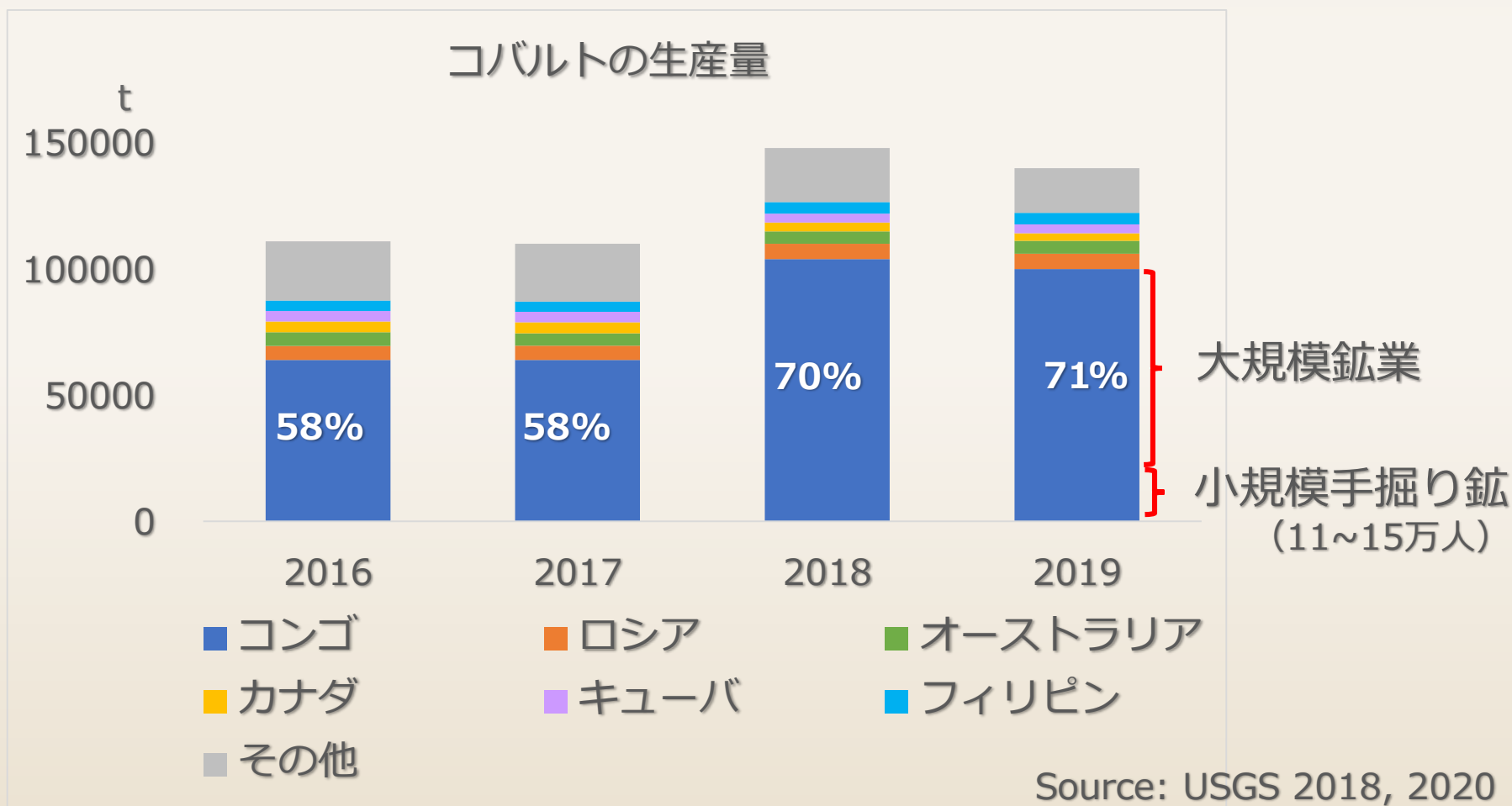
- ◆2019年12月 ワシントンD.C.にて  
コンゴの鉱山で子どもが死傷した14人の両親に代わって  
International Rights Advocatesが  
Apple、Google、Dell、Microsoft、Teslaを訴える。

Glencore、CDM、Huayouが関わる**鉱山での児童労働**  
→**落盤死、事故での損傷**など



# コバルトの需要増加

- ◆電気自動車の普及による需要の高まり
- ◆コンゴは世界のコバルト産出の過半を占める



# 消費者の役割

企業がWEBで情報開示



NGOなどが評価を公開



A社は○  
B社は×



消費者の購買に影響



A社の製品  
にしよう

投資家の選択に影響



B社の株は  
やめよう

企業が紛争資源を  
使わない動機づけになる

公正を求める市民の力が重要

# 日本への影響は…？

アメリカの企業と取引する場合、  
日本の企業にも影響あり



日本企業も対策に乗り出す  
電子情報技術産業協会（JEITA）  
「責任ある鉱物調達検討会」

2021年1月  
EU規制の開始

Panasonic

HITACHI  
Inspire the Next

TOSHIBA

NEC

SONY



TOYOTA

Canon

muRata  
INNOVATOR IN ELECTRONICS

KYOCERA

TDK

住友電工  
Connect with Innovation

# 2018年ノーベル平和賞

## ◆紛争下の性暴力と闘う2人の人権活動家



**ナディア・ムラドさん**

イラク北部出身ヤジディ教徒  
ヤジディ教徒の女性の解放を訴える



**デニ・ムクウェゲ医師**

コンゴ民主共和国の婦人科医  
性暴力被害者7万人以上を救う

# コンゴにおける紛争下の性暴力の特徴

- ◆ 残虐性
- ◆ 紛争手段としての性暴力
- ◆ 国軍兵士や警察官の関与
- ◆ 加害者の不処罰
- ◆ 倫理観の崩壊



性暴力は、性欲の問題ではなく  
「力」の問題



# ムクウェゲ医師の活動

## \* 1999年 パンジ病院を設立

- ◆ これまでに10万人以上を治療
- ◆ そのうち7万人以上が性暴力被害者



▶ パンジ病院

# パンジ病院でのケア

## 1. 医療ケア



## 2. 精神的ケア



## 3. 生活再建支援



## 4. 法的支援



# 2019年10月 ムクウェゲ医師来日



# グローバル基金の設立

## ◆2019年10月30日 デニ・ムクウェゲ医師 & ナディア・ムラド氏 The Global Survivors Fund 設立

- ・ 紛争下の性暴力生存者に補償するための基金
- ・ ナディア・ムラド氏とムクウェゲ医師による共同設立
- ・ 性暴力生存者を中心におく 「**survivor-centric**」

- ⇒
- ・ 国連決議2467へ
  - ・ G7の支援
  - ・ 日本も理事国として  
2.4億円を拠出

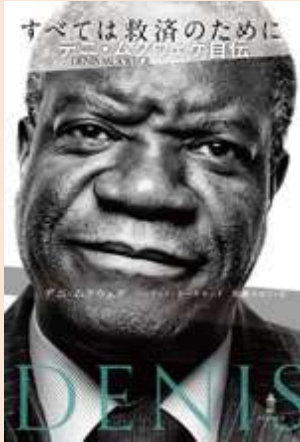


# コンゴの問題



# 私たちにできること

## 知ること



『すべては救済のために  
デニ・ムクウェゲ自伝』  
(あすなろ書房)

## 語ること



ムクウェゲ医師を描いた  
ドキュメンタリー映画  
『女を修理する男』  
上映会&トーク

## 行動すること

- ・パンジ病院を支援する
- ・現地で活動する日本のNGOを支援する  
ex. テラ・ルネッサンス

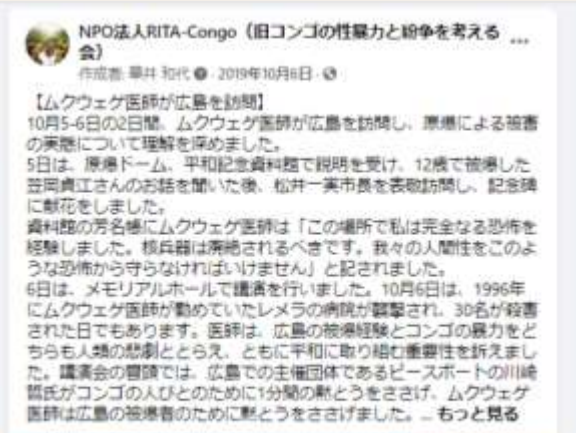


- ◀ RITA-CongoのHPからパンジ病院への寄付を受け付けています

# RITA-Congoの情報発信



HPは  
こちら





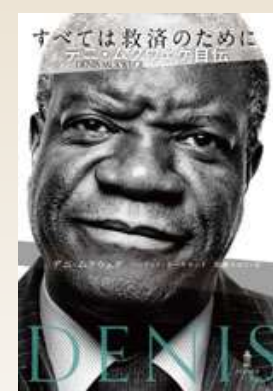
▲華井著書



▲開発教育教材



▲ムクウェゲ医師の活動を描いた映画「女を修理する男」



▲ムクウェゲ医師の自伝「すべては救済のために」



▲最新映画「沈黙の帝国」



▲TBSドキュメンタリー映画「ムクウェゲ「女性にとって世界最悪の場所」で闘う医師」





私たちにできることを  
ひとつひとつ重ねていきましょう  
ご清聴ありがとうございました

